



# 相良村

SAGARAMURA  
村勢要覽2020



## 目次

## contents

美しい四季と輝く人々 .....	5
古きを訪ねる～相良村の文化財～ .....	7
生活環境の整備 .....	9
防火・防災 / 交通安全・防犯 / 生活環境	
医療の充実 .....	11
保健・医療	
環境づくり .....	12
児童福祉 / 社会福祉 / 学校教育 / 社会教育	
相良村の産業 .....	17
農業 / 林業 / 畜産業 / 水産業 / 商工業	
行政 .....	21
議会 .....	22
村長あいさつ .....	23

資料編

## 相良村の概要

相良村は、熊本県の南部、人吉盆地のほぼ中央に広がる緑豊かな農山村です。

村の中央には、水質日本一の清流川辺川(国土交通省の水質調査結果に基づく)が美しい景色と恵みの水をたたえ、南北に流れています。

かけがえない豊かな自然に恵まれた相良村は、先人たちが築き上げてきた歴史・文化を背景に、様々な社会基盤を創出、発展させてきました。

こうした村民共有の財産を大切に活かし、新たな時代を見据え、「住民と行政が協働する足腰の強いむらづくり」を基本理念に、「新たな相良村の未来」に向かって、地域の特性を尊重した住民によるむらづくりの実現を目指しています。

◆役場庁舎の位置：東経130度47分59秒

北緯32度13分43秒／標高151.989 m

◆東西(北端11 km・南端4 km)／南北24 km

◆面積：94.54 km<sup>2</sup>



上園観音堂 竹あかり



# 相良村をぐるり。 おそとに出かけよう。



**⑥雨宮神社の三産くぐり**  
まるで「トトロの森」のような景観。森の中には雨乞いの神社があり、神社奥の階段を下りると「三産くぐり」がある。“幸せを産み”“子宝に恵まれ”“金運を引き寄せる”御利益がある。



**④北嶽神社**  
猿にまつわる伝説が残される神社の境内で伝統芸能「狒狒舞」が奉納される。(伝説の詳細はp38に掲載)

絶景ビュー  
スポット!!



**⑤廻り観音**  
人吉球磨にある三十三か所の札所のうち、相良村には5か所の札所があります。春と秋の御開帳の時期には多くの参拝客が訪れます。廻り観音は18番札所。14年連続日本一の「清流川辺川」、絶景のビュースポットでもあります。



**③さがら温泉「茶湯里」**  
豊かな緑に包まれた癒しの湯処。レストランや宴会場、グラウンドゴルフ場や、全長76mのウォータースライダーも完備。



**①十島菅原神社**  
菅原道真を祀った学問の神様。大祭では郷土芸能が披露される。



**②夫婦橋**  
カッパの夫婦の像がある橋。



**⑧相良茶**  
冷涼な気候風土のもとで育ったブランド茶。県内一の生産量を誇る最高級の品質。





春、爛漫。桜が咲き、子どもたちの笑顔も爛漫。  
5月は茶摘みの季節。鮮やかな緑色とかぐわしい香りの新茶は、相良村が誇る宝物です。

夏、鮎漁の解禁とともに清流川辺川には全国から釣り人が訪れます。祭りではにぎやかな笑い声が響き渡り、夜空には大輪の花火が上がり人々を魅了します。

秋、朱色の彼岸花と黄金色の稲穂たちが、のどかな里山の原風景を彩ります。

観音めぐり、運動会、文化祭と多くのイベントに、米や栗、梨などの収穫。秋はまさに豊かな実りの季節。

冬、霜が降り立つ寒さの中、村は静かな風景を魅せます。  
1年の締めくくりの季節。村がもたらす豊かな自然の恩恵と暮らして、村人からは温かい笑みがこぼれます。

村章



デザインの説明  
さがらの「さ」を図案化したもので、将来に向かって強く、大きく飛躍する「発展」と互いに交わる村民の「融和」を表し、下部の切りぬきは貫流する「川辺川」を意味しています。

村花：福寿草



村木：茶



村鳥：セキレイ







相良700年が生んだ保守と進取の文化  
 ～日本でもっとも豊かな隠れ里―人吉球磨～

2015年度に文化庁が「日本遺産」認定制度を創設しました。地域の歴史的背景や特色を通じ、日本の文化や伝統を語るストーリーが各地で認定。熊本県の第一号として、人吉球磨地域が全国17地域とともに選出されました。

本村には国指定重要文化財「十島菅原神社」をはじめ、数多くの木造建築物や仏像があります。村指定の

指定・登録文化財は59に上り、うち国指定重要文化財「十島菅原神社本殿・拝殿」、国指定重要無形民俗文化財「国選択無形民俗文化財「球磨神楽」、県重要文化財「井沢権現社本殿・脇殿・摂社」、村民俗文化財「十島観音堂内聖観音像」、村民俗文化財「蓑毛観音堂内十一面観音像」、村民俗文化財「深水観音堂内聖観音像」、村民俗文化財「上園観音堂内聖観音像」、村民俗文化財「廻り観音堂内聖観音像」、「雨宮神社」の9つは「日本遺産」に認定されています。

1 十島菅原神社 (国指定重要文化財)

国の重要文化財に指定されており、学問の神様としても有名な神社。受験シーズンには多くの受験生が訪れます。

2 川辺蔵島神社

川辺構造改善センター横に位置する村社。毎年例祭が11月20日に行われる。

3 四浦阿蘇神社

江戸時代後期に建築された建物。保存状態も良く、村の有形文化財に指定されています。

4 永江太鼓踊り (村指定無形文化財)

雨乞いの神社として有名な雨宮神社の大祭で奉納される太鼓踊りです。

また各地区に伝わる郷土芸能「大谷太鼓踊り」や「永江太鼓踊り」などは、人口減少・過疎化・少子高齢化により後継者の継承が危惧されています。ふるさとの伝統文化を後世に継承するためにその保全に努めます。



1



2



3



4



5



5

5 井沢権現社 (県指定重要文化財)

中央殿・右脇殿・左脇殿の3棟からなる本殿は珍しい春日造りで、神社本殿としては当地方最古の建物です。



6

6 北嶽日吉神社

標高645mの高台にあり、「猿」にまつわる伝説で有名な神社。毎年秋には大祭が行われます。



7

7 ふろさと館 (旧四浦村役場庁舎)

木造2階建ての建物で、国の登録有形文化財(建造物)に指定されています。旧四浦村の役場庁舎で、文化財の保護や生涯学習の拠点施設として利用されています。



9



11



8

8 十島観音

相良三十三観音の十四番札所。木造聖観音立像、阿弥陀座像・石地藏・朽仏が各一体祀っています。



10

9 深水観音

相良三十三観音の十六番札所。お堂の正面には青銅の鱧口(わにぐち)、左手には「深水頼方宗芳」の墓があり、歯の神様として知られています。

10 蓑毛観音

相良三十三観音の十五番札所。ヒノキの一木造りで、長寿・家内安全に利益があるといわれています。



12

11 上園観音

相良三十三観音の十七番札所。かつては「萩原観音」と呼ばれ、境内には老樹のシラカシがあります。



12

12 廻り観音

相良三十三観音の十八番札所。お堂には室町時代のものと思われる鉄製の菊花文の鱧口(わにぐち)が下げられています。



13

13 四浦和紙

相良村に古くから伝わる和紙づくり。引きに強く破れにくい良質な和紙として有名です。



**上下水道**  
 安心して快適な環境づくりとして、簡易水道5施設と農業集落排水3施設の維持管理や浄化槽の普及促進に努めています。下水道においては、平成20年4月から大規模農業集落排水施設「川地区クリーンセンター」の供用を開始しており、相良村が誇る水質日本一の清流「川辺川」の水環境を守るとともに、「水と緑を活かした潤いのあるむらづくり」を推進していきます。



川地区クリーンセンター



観音橋開通(平成27年9月)

## 道路

生活していく中で道路の整備は必要不可欠です。道路改良や歩道整備を計画的に進め、住みよい村づくりに取り組んでいます。



豪雨によって氾濫した川辺川(令和2年7月4日)

相良村では住民の生命、財産を守るため、安心安全なむらづくりに取り組んでいます。村内には8分団の消防団が組織されており、総勢300名(令和2年10月現在)を有しています。災害発生時には迅速・的確に対応できるよう、日ごろから訓練に取り組んでいます。  
 また、いつ起きるか分からない災害に備え、防災会議や各施設での防災訓練を実施しています。



防災会議



## 出初式

毎年1月初旬に行われる出初式では、相良村消防団による操法競技や放水競技会などが行われます。

## 《誰もが安心して暮らせる 住みよい生活環境の整備》



行政告知端末

## 情報通信

**住宅・環境**  
 村営住宅は平成27年4月1日現在、63棟建設されています。これまで公営住宅は主に住宅に困窮する低所得者向けに建設されてきました。  
 しかし、少子高齢化が進む現代の状況の中、公営住宅法も改正され、福祉的役割に重点をおいた住宅づくりが求められています。  
 今後は、福祉機能を有する施設との連携を図りながら、地域の子育て環境にも配慮した居住環境づくりにおいて定住促進も視野に入れ、さらなる住宅環境のサービス向上を目指します。  
 また、令和2年7月豪雨災害により被災された世帯を対象に、県により、災害救助法による建設型応急住宅24戸が建設されています。



相良村では、平成22年度に光ファイバーケーブルによる通信網を整備し、告知放送による防災・行政情報の提供、難視聴地域への地上デジタル放送の提供、携帯電話不感地域の解消、光インターネット接続サービスの提供により、地域間の情報格差の是正と地域活性化を図っています。



交通安全指導



## 交通安全タッチ運動

ドライバーの交通安全に対する意識付けを目的として毎年交通安全タッチ運動を実施し、交通事故防止の啓発に努めています。

警察、交通指導員を中心に早朝街頭指導、子どもや高齢者を対象とした交通安全教室を実施し、交通安全の推進・啓発を行っています。  
 また、学校・PTA・各種団体と連携を図りながら継続的に防犯パトロールを実施していきます。地域一体となり、さらなる防犯体制の強化に努め、犯罪のない住みよい村を目指します。



子どもを安心して生み育てることが  
できる社会を地域・家庭・行政が  
一体となって築き上げるため、子育  
てにかかる経済的負担の軽減や働き  
ながら子育てをしている皆さんの生  
活支援など、子育て環境の充実を図  
ります。



ちゃちゃクラブ

本村には保育所が3ヶ所あり、  
子育て家庭の支援のため、様々な  
ニーズに応じたサービスを提供し  
ています。  
保健師による相談、子育てにつ  
いての情報交換、親子の交流等を  
目的に「ちゃちゃクラブ」（子育  
て応援事業）を開催しています。  
また、ひとり親家庭の自立のた  
め、日常的な生活や就業、養育費  
などに関する支援についての情報  
の提供を行っており、児童扶養手  
当やひとり親家庭等医療制度もあ  
ります。



四浦保育所あざみ園



なつめ保育園



暁保育園



三園交流会

安心して子育てができる環境づくり

相良村では、住民の皆さん  
が生き生きとした生活を送る  
ため、生活スタイルの変化に  
伴う生活習慣病の予防や次世  
代を担う子どもたちが健やか  
に成長できる環境づくり、高  
齢者が生きがいを持って社会  
生活の中で元気に暮らせるた  
めの仕組みづくりなどの支援  
を行っています。



40歳以上の方を対象にした住  
民健診では、村内医療機関をは  
じめ、郡市の医療機関で6月か  
ら9月までの間に自分のでき  
る時に医療機関で健診が受けら  
れるようにしています。年に一度  
ふれあいセンターなどで集団健  
診を実施し、人間ドックは5健  
診機関で利用できるようにして  
います。



子どもたちが健やかに成  
長できるよう、母子健康手  
帳交付、乳幼児訪問事業、  
3か月児健康診査などの定  
期健診を実施しています。  
同時に子どもさんの成長発  
達についての相談も行って  
います。  
また、相良村では、子ど  
もの疾病の早期治療を促進  
し、子育て支援を図るため  
「子ども医療費助成制度」  
で高校3年生までの医療費  
の無料化を行っています。



相良村食生活改善推進員による中学生を対象  
にした「郷土料理教室」や「男性健康料理教室」、  
「親子クッキング教室」などを行っています。



健康運動教室

毎日元気にいきいきと村民のための医療の充実



地域に住む一人ひとりが主体となり、誰もが住み慣れた地域で人と人とのつながりを大切に、「支え合い 助け合い」とともに生きる「むらづくり」を地域福祉の基本理念に、「生きがい」や「やすらぎ」を実感でき心豊かに暮らせる体制を整えます。



元気クラブ

## 高齢者福祉

「高齢者とお互いに支え合う安心して暮らせるむらづくり」を基本理念に、健康の保持と増進、介護予防事業の推進、老人クラブなどの生きがい対策を推進していきます。支援が必要な高齢者に対し、配食サービス、通所型サービスC、軽度生活援助サービス等を提供し、高齢者の自立と生活の質の確保等を行っています。

また、高齢者向け「元気クラブ」などの介護予防を推進し、地域の特性に応じた介護サービスの充実を図っています。



高齢者の介護予防教室への送迎  
「いきいきおでかけ号」

## 障がい者福祉

障がい者福祉においては、「お互いに理解し 支え合い」ともに生きる」を基本理念に相良村障がい者福祉計画を策定し、住み慣れた地域でともに生活し、社会に参加できるむらづくりを目指しています。村内には、就業継続支援と児童発達支援の事業所があり、障がい者の社会参加を支援しています。



## 乗合タクシー

令和元年10月から、高齢者の日常生活における移動手段の確保と外出機会の創出を目的に、交通空白地帯の方や高齢者、障がいのある方を対象として予約型乗合タクシーの運行を始めました。村内3エリアを週に2日、定時不定路線で運行しています。事前に予約していたら、タクシーがご自宅まで迎えに上がり、村内拠点施設まで行くことができます。



乗合タクシー

## 命のバトン

高齢者のひとり暮らしや障がいのある方の安心・安全を確保するため、「命のバトン」を配布しています。災害時や病気に迅速に救急活動を受けられる体制を整えています。

また、災害時における要援護者の方へも「命のバトン」の配布を行っています。



民生委員・児童委員14名、主任児童委員2名による、高齢者世帯の訪問活動、児童・生徒の登下校時の安全見守り活動を行っています。

また、情報共有のために月に一度定例会が開かれます。



## シルバー人材センター

相良村シルバー人材センターでは、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりを目的として様々な活動を行っています。豊富なお経験、知識、技能を生かせる場となっています。



現在の会員数は45名。草木の剪定や草払い、福祉施設のシート交換、公共施設の清掃などの活動を年間を通して行っています。10月にはシルバーの日として、年に1回のボランティア活動を行っています。

## 人と地域との連携で福祉サービスと支援体制の強化





やよい会



ゲートボール大会



グラウンドゴルフ大会



セレゾ、ローサ

### 生涯学習

文化・スポーツ活動などの中で、いつでも・どこでも・だれでもが自分の生活スタイル（ライフステージ）にあわせて、自ら学べる環境づくりを図り、住民の多様なニーズに対応するための学習機会を充実させています。また、文化祭や体育祭、村民球技大会など、村民一人ひとりが主役となり、子どもから高齢者まで幅広い世代が活躍できるイベントを実施しています。

本村には文化協会11団体、体育協会17団体があり、それぞれ活動が行われています。今後も団体の活性化、新しい文化の育成、人材の確保・育成などを進め、文化とスポーツの振興を図っています。平成22年度には、総合型地域スポーツクラブ「茶れんじクラブ」を設立し、スポーツと文化を通して健康増進を図っています。

### ◆文化協会団体一覧

団体名		団体名	
やまばと句会	俳句	藤乃流淳竹会	舞踊
やよい会	生け花	養心書道会	書道
四浦和紙保存会	和紙づくり	手話ダンス サークル	手話
相良写真クラブ	写真	セレゾ、ローサ	ダンス
ふきのとう	舞踊	キルトサークル エム	手芸
大正琴愛好会	大正琴		

### ◆体育協会団体一覧

団体名	
ソフトボール協会	ビーチボールバレー協会
ゲートボール協会	陸上クラブ
男子バレーボール協会	テニスクラブ
女子バレーボール協会	空手道
グラウンドゴルフ協会	ゴルフ
バドミントンクラブ	ボウリング協会
少年剣道部	ジュニアバレーボールクラブ
軟式野球クラブ	相良少年野球クラブ
相良フットボールクラブ	



### 相良中学校

平成15年4月1日に相良北中学校と相良南中学校が統合し、相良中学校が誕生しました。

- 《校訓》
- 一、「自主」
  - 二、「友愛」
  - 三、「勤労」



中学校文化祭



### 相良南小学校

- 《校訓》
- やさしく  
かしこく  
たくましく



### 小・中学校

豊かな心の育成を目標に基礎学力、基礎体力の定着を図るため、学校・家庭・地域が連携し児童生徒一人ひとりを活かす創意工夫のもと学校教育を進めています。また、社会の変化に対応できるような教育の内容や相談・指導体制を充実させ、心身ともに健全な児童生徒の育成に努めています。



相良北小カルタ大会



### 相良北小学校

- 《校訓》
- 心豊かに  
体たくましく



### 相良村学校給食共同調理場

小・中学生にとって学校生活の楽しみのひとつである給食。共同調理場では1日約450食が作られています。地元の特産品を使うなど相良村ならではのメニューもあり、多彩な献立となっています。育ち盛りの子どものことを考えて、真心のこもった給食が作られています。



生涯を通じた学びの充実

健やかな心と体を育てる学びの環境づくり



相良村は農業を基幹産業とし、恵まれた自然を活かして、米・茶・タバコ、メロン・イチゴなど様々な農作物が生産されています。特にお茶は、高原地区と四浦地区を中心に栽培されており、川辺川の深い霧に育まれた、豊かな香りとまろやかな味は、農林水産大臣賞を受賞するなど、高い評価を受けています。

令和2年7月豪雨災害で、川沿いの農地は甚大な被害を受け、復旧の見通しが立たないところもあります。早期復旧に向けて取り組んでいます。

就農者の高齢化、担い手不足、耕作放棄地の増加など、農業を取り巻く環境は依然厳しいですが、相良村の魅力を活かした、将来につながる農業の実現に向けて、関係機関と連携しながら農業政策を進めていきます。



## 相良茶

粗生産額は熊本県内第1位。相良村と錦町にまたがる高原台地を中心に約200haでお茶が栽培されています。品質においても、全国茶品評会で1等最高位である農林水産大臣賞を受賞するなど、安定した高い評価を得ています。生産者たちが連携して、海外からの観光客をターゲットにしたインバウンドツアーにも取り組んでおり、食+αの消費拡大に向けた取り組みも行っています。



インバウンドツアーでの茶摘み体験

## 米

清流川辺川の水で、減農薬や有機肥料による米作りにも取り組んでいます。豪雨災害で川沿いの農地は被害を受けましたが、美味しい米を消費者に届けられる日常を目指して奮闘されています。また、相良村産の米を原料に造られた焼酎「川辺」はすっきりとした味わいで人気の逸品です。



夜狩尾地区 棚田

## その他

ズッキーニやトマト、葉たばこ、メロンなどをはじめ、肥沃な土壌、清流、気候に囲まれて、多様な作物が育ちます。



ネギ



メロン



## いちご

イチゴは主に「ゆうべに」「こいみのり」などの品種が生産されており、冬から春にかけて、甘くておいしいイチゴが出荷されます。



トマト



ズッキーニ



自然豊かな風土が育んできた相良村の基幹産業



# 水産業

14年連続水質日本一（令和2年7月現在）の川辺川には、鮎、ヤマメなど様々な魚が生息しています。特に鮎は、大きさと味の良さから、首都圏でも人気があり、川辺川は釣り人の聖地となっています。



**鮎の稚魚放流**  
鮎資源の回復に努め、流域への釣り人の増加などの観光振興も図っています。

# 林業

人吉球磨地域は県内でも有数の林業が盛んな地域で、相良村にも2つの木材市場があり、製材所や関連工場が立地し、林業は村の重要な産業となっています。農業と同じく担い手不足、木材価格の低迷など厳しい状況が続きますが、森林が持つ多面的機能の維持が、SDGsの取り組みにつながることから、時代の流れにあった森林づくりと産業の再生を目指していきます。



## 有害鳥獣対策

野生鳥獣による農林作物への被害は、有害鳥獣対策の効果もあり、横ばい傾向にあります。高齢化や耕作放棄地の増加などによって、不安定な状況です。捕獲隊による捕獲だけでなく、地域ぐるみの息の長い対策を講じていきます。

《地域の特色を活かした 活力あふれる産業の振興》

# 商工業

大型スーパーへ偏りがちな消費動向を踏まえ、プレミアム付商品券を発行して村内事業者の支援を実施しています。また、雇用の場を確保するため、テレワークなども進めながら、働く環境の多様化に対応できる体制を作っていきます。



Aコープ



相良村商工会館



# 畜産業

近年では牛舎の拡大や養鶏場の参入により飼養数は増加しています。高齢化に対する支援と、伝染病の備えを充実させ、高品質で安全な生産を進めていきます。





議会は、住民を代表する公選の議員をもって構成され、条例の制定・改廃だけでなく、行財政全般にわたる具体的事務処理についての意思決定機関であり、憲法第93条で設置根拠を保障されています。現在、本村の議会議員は、定数10名で構成され、年4回（3月、6月、9月、12月）の定例会と必要に応じて臨時会が開催され、そ

の招集権は原則として村長がもっています。また、より専門に審議がなされるよう総務文教、産業福祉の2つの常任委員会と必要に応じて特別委員会も設置し、協議・意見調整の場として全員協議会も開催されています。村民の要望等をいち早く村政に反映させる重要な役割を担っています。



議長  
黒木 正照



副議長  
高岡 重盛

有権者数  
(令和2年9月現在)  
男性1,732人  
女性1,984人  
総数3,716人

著しい社会変化、少子高齢化、人口減少などのさまざまな課題へ対応するため、行政に対する需要は複雑になり、多様化を見せています。このような中、より効果的な財源の配分や経費節約による財源の健全化を進めながら、住民福祉の向上、地域振興、インフラなどの整備拡充などを図っていきます。



また、職員の資質の向上も含め、豊かで魅力的な、住み続けられるむらづくりを目指します。



地域づくり

相良村には全部で18の行政区があります。それぞれがより豊かで魅力溢れる地域となるよう、「相良村がんばる地域応援事業」や「相良村木造住宅建設補助金」などの各種支援事業を実施しています。



松馬場地区 芝桜



井沢地区 和太鼓

村政座談会

行政と住民の意見交換の場として、村政座談会を実施しています。地区ごとに行い、それぞれの地区が抱えている課題を行政に直接要望できる場として村政座談会は有効に機能しています。住民の生の声を村政に活かし、行政と村民が一体となった魅力ある村を目指します。

地域が輝く「相良村」を目指して





## 相良村勢要覧 2020

### 資料編



### ご挨拶

相良村は、川辺川が縦断していて、時には自然の驚異や凄さを感じますが、自然と共存し、その恵みを活かしながら農林水産物の生産を振興して、所得の向上に努めております。

また、働き場の確保を図りつつ若者の定住を促進し、子育て支援や高齢者支援も推進しております。

このような環境の中、今後とも村民の皆様方と一緒に、豊かで人々が和気藹々と和やかに暮らせる村づくりを進めて参ります。

相良村長 吉松 啓一

### 村民憲章

- 一、自然の恵みに感謝し、豊かな美しい村をつくります。
- 一、仕事によるこびと誇りをもち、産業の振興につとめます。
- 一、先人に学び、伝統を継承し、文化を高めます。
- 一、かけがえのないのちを大切に、健康づくりにつとめます。
- 一、助け合い励ましあって、住み良い村をつくります。





## 防災

### ●消防・ポンプ等保有状況及び防火水槽・消火栓

(令和2年4月現在) 単位:人・台・ヶ所

分団数	総数	階級別内訳							小型動力ポンプ付積載車(台)	小型動力ポンプ(台)	防火水槽(ヶ所)		消火栓(ヶ所)
		団長	副団長	分団長	部長	班長	団員	機能別団員			40m級未満	40m級以上	
8	300	1	2	8	18	52	219	58	20	20	62	78	206

資料:総務課

## 教育

### ●児童生徒数の状況

単位:人

年次	区分	野原小学校			北小学校			南小学校			小計	北中学校			南中学校			小計	合計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計		
昭和46年		24	40	64	85	82	167	229	219	448	679	78	75	153	166	145	311	464	1,143
昭和60年		9	4	13	56	41	97	235	213	448	558	22	28	50	111	97	208	258	816
平成14年					25	36	61	137	165	302	363	22	19	41	74	96	170	211	574
					相良中学校(平成15年4月1日統合)														
					男					女									
平成17年					24	26	50	128	150	278	328				86		109	195	523
平成22年					18	23	41	104	141	245	286				70		75	145	431
平成27年					8	8	16	121	98	219	235				68		80	148	383
令和2年					2	11	13	102	83	185	198				66		48	114	312

資料:教育委員会

## 住宅

### ●村営住宅

(令和2年4月現在)

団地名等	住宅面積(m <sup>2</sup> )	棟数	戸数	建築年度	種類
深水団地	112.0	2	4	S26	公営
永谷団地	190.9	6	24	S53.56.57	公営
永谷住宅	1,136.2	18	18	H20.21.22	公営
永谷集合住宅	544.0	2	8	H25	公営
田代団地	141.2	2	2	H12	公営
田代住宅	128.3	2	2	S56.61	村有
四浦団地	153.8	10	2	H15	公営
植竹第1団地	835.4	8	10	H15	公営
植竹第2団地	461.4	8	8	H16.17.18	公営
田ノ下団地	150.7	2	2	H14	公営
小田下住宅	60.0	1	1	S61	村有
教職員住宅(深水・四浦)	179.8	2	2	S62.H5	村有(第1・3)

## 人口

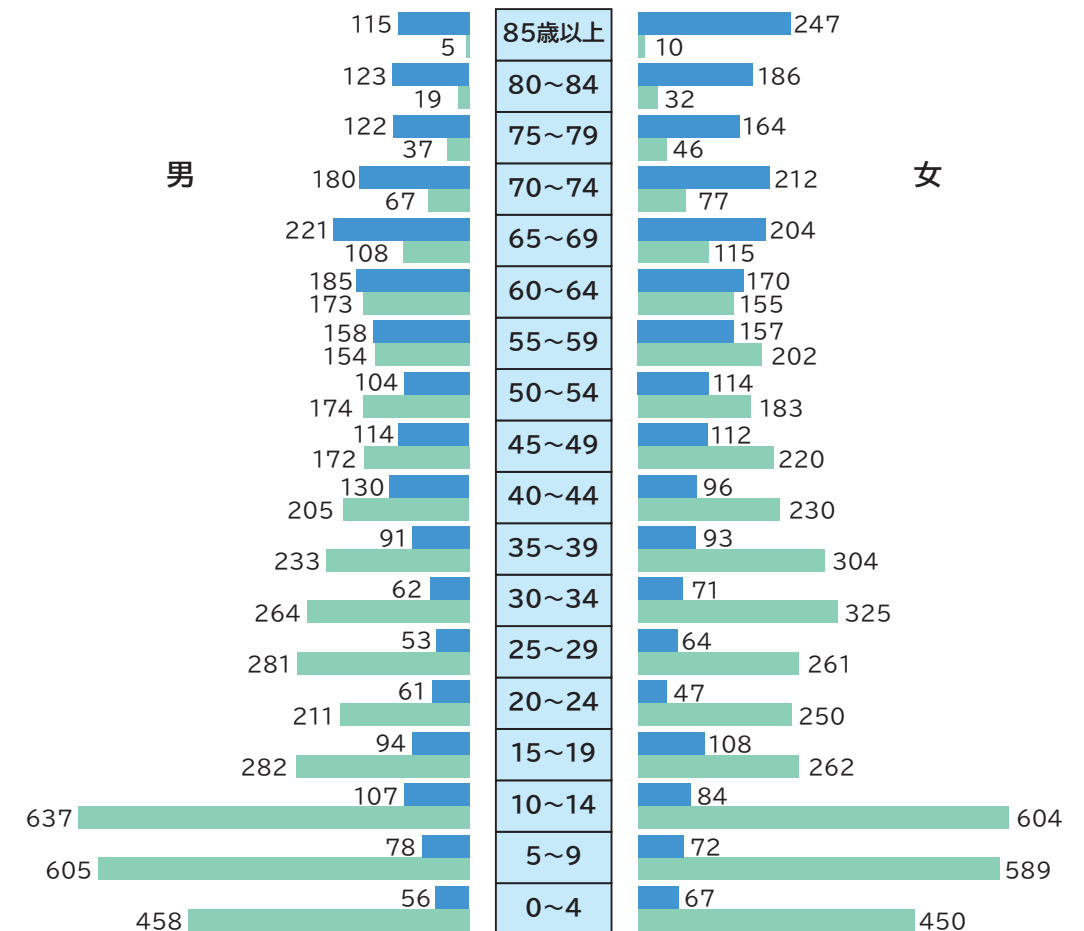
### ●人口と世帯数

年次	区分	世帯数	人口(人)			1世帯当り人員(人)	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
			男性	女性	計		
	川村	989	2,897	2,974	5,871	5.9	—
昭和31年	四浦村	557	1,466	1,472	2,938	5.3	—
	計	1,546	4,363	4,446	8,809	5.7	92.7
昭和35年		1,568	4,085	4,315	8,400	5.4	88.5
昭和50年		1,415	2,750	3,000	5,750	4.1	60.6
平成2年		1,528	2,754	3,187	5,941	3.88	62.8
平成7年		1,549	2,642	3,114	5,756	3.71	60.9
平成12年		1,559	2,578	2,948	5,526	3.54	58.0
平成17年		1,570	2,495	2,903	5,398	3.43	57.1
平成22年		1,529	2,289	2,645	4,934	3.23	52.2
平成27年		1,504	2,092	2,376	4,468	2.97	47.3
令和2年		1,627	2,054	2,272	4,326	2.65	45.8

資料:H27年までは国勢調査  
資料:R2年は住民基本台帳

### ●年齢階層別人口(ピラミッド)

昭和35年 総数:8,400人 男:4,085人 女:4,315人  
令和2年 総数:4,326人 男:2,054人 女:2,272人





●経営耕地規模別農家数

年次	区分	総農家数	例外規定	0.3ha未満	0.3~0.5ha	0.5~1.0ha	1.0~1.5ha	1.5~2.0ha	2.0~3.0ha	3.0~5.0ha	5.0ha以上
平成22年		375	1	0	69	124	50	27	33	38	33
平成27年		332		1	64	89	50	25	41	31	31

資料:農林業センサス

●産業別事業所数

年次	区分	全産業	農林漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業	医療・福祉
平成24年		193	9	0	44	28	0	0	4	40	1	5	0	44
令和元年		192	12	0	39	30	0	0	3	40	0	4	0	39

●林業の状況

年次	区分	総数	国有林				民有林		
			合計		公有林		私有林		
			林野庁所管	他省庁所管	合計	県有林		市町村有林	
平成24年		6,952.00	1,305	1,305	0	722	247	540	4,860
令和元年		6,952.00	1,317	1,317	0	787	247	540	4,848

資料:産業振興課

教育・学習支援業	複合サービス事業	サービス業(他に分類されないもの)
28	0	0
30	0	0

資料:熊本県統計年鑑

土地

●地目別の土地

年次	区分	総面積	農用地			森林	水面 河川 水路	道路	住宅				その他
			計	田	畑				計	住宅地	工業用地	事務所 店舗	
昭和59年		9,493	1,018	582	436	7,270	281	173	124	82	7	35	627
平成12年		9,454	844	467	377	7,092	311	221	174	108	6	60	811
平成16年		9,454	835	460	375	7,104	306	217	154	96	5	53	837
平成21年		9,454	833	455	378	7,056	88	233	180	113	3	63	1,065
平成24年		9,454	837	455	382	6,994	87	233	182	114	3	67	1,092
平成29年		9,454	800	454	346	6,997	86	245	192	117	3	72	1,133

資料:熊本県統計年鑑

交通

●道路の状況(一般道路) (令和2年現在)

区分	路線数	実延長(m)
国道	1	19,057
県道	4	8,309
村道	112	113,399
合計	117	140,765

資料:熊本県統計年鑑

●交通事故発生件数

年次	区分	件数	死者	傷者
昭和62年		14	0	20
平成5年		15	0	7
平成16年		15	0	20
平成22年		12	0	13
平成27年		10	0	12
令和元年		5	0	7

資料:熊本県統計年鑑

(村道)

年次	区分	面積(mi)	延長(m)	舗装(m)	舗装率(%)
昭和50年		313,700	103,000		
昭和55年		328,450	103,000		
昭和60年		413,537	84,564	64,734	76.6
平成2年		435,836	85,991	68,428	79.6
平成7年		476,777	89,410	79,828	89.3
平成12年		874,378	103,120	96,334	93.4
平成16年		933,934	103,523	97,585	94.2
平成22年		1,061,174	108,450	102,552	94.6
平成26年		1,061,659	107,953	102,761	95.2
令和2年		1,147,046	114,247	108,988	95.4

資料:建設課

産業

●産業別就業人口

単位:人・%

年次	産業	総数	第1次産業			第2次産業			第3次産業			熱供給・水道業	電気・ガス	運輸・通信業	飲食・小売業	金融・保険業	不動産業	サービス業	公務	分類不能の産業
			業	業	業	業	業	業	業	業	業									
昭和35年	人口数	3,844	3,003	2,705	269	29	231	2	107	122	610	17	47	275	5	0	182	84	0	
	構成%	100	78.2	70.4	7.0	0.8	6.1	0.1	2.8	3.2	15.7	0.4	1.2	7.1	0.1	0.0	4.7	2.2	0.0	
昭和60年	人口数	3,063	1,261	1,125	128	8	894	28	444	422	907	8	70	300	21	4	420	84	1	
	構成%	100	41.2	36.7	4.2	0.3	29.2	0.9	14.5	13.8	29.6	0.3	2.3	9.8	0.7	0.1	13.7	2.7	0.0	
平成2年	人口数	2,951	927	838	85	4	966	12	424	530	1,058	2	73	326	24	8	530	95	0	
	構成%	100	31.4	28.4	2.9	0.1	33	0.4	14.3	18.0	35.9	0.1	2.5	11.0	0.8	0.3	18.0	3.2	0.0	
平成7年	人口数	2,863	751	678	70	3	943	20	494	429	1,169	6	83	311	21	4	642	102	0	
	構成%	100	26.2	23.7	2.4	0.1	33	0.7	17.3	15.0	40.8	0.2	2.9	10.9	0.7	0.1	22.4	3.6	0.0	
平成12年	人口数	2,748	697	620	73	4	848	6	505	337	1,203	8	82	335	19	5	638	116	0	
	構成%	100	25.3	22.5	2.7	0.1	30.9	0.2	18.4	12.3	43.8	0.3	3.0	12.2	0.7	0.2	23.2	4.2	0.0	
平成17年	人口数	2,633	638	601	32	5	697	12	384	301	1,298	2	72	438	21	3	670	92	0	
	構成%	100	24.2	22.8	1.2	0.2	26.5	0.5	14.6	11.4	49.3	0.1	2.7	16.6	0.8	0.1	25.4	3.5	0.0	
平成22年	人口数	2,406	601	530	67	4	538	7	315	216	1,264	0	68	326	21	10	714	125	3	
	構成%	100	25.0	22.0	2.8	0.2	22.4	0.3	13.1	9.0	52.5	0.0	2.8	13.5	0.9	0.4	29.7	5.2	0.1	
平成27年	人口数	2,263	549	486	57	6	513	1	277	235	1,198	1	56	265	18	7	777	74	3	
	構成%	100	24.3	21.5	2.5	3.0	22.7	0.0	12.2	10.5	52.9	0.0	2.5	11.7	0.8	0.3	34.3	3.3	0.1	

資料:国勢調査

●農業の状況

単位:戸・ha

年次	区分	専業および兼業農家数				経営耕地面積			
		総農家数	内 訳			総面積	内 訳		
			専業	第1種兼業	第2種兼業		田	畑	樹園地
昭和35年		1,111	491	404	216	1,022	331	641	50
平成2年		780	117	134	608	869	447	258	164
平成7年		710	112	82	529	827	417	239	171
平成12年		682	87	94	501	798	385	239	174
平成17年		638	89	71	271	834	460	103	251
平成22年		575	117	43	215	800	428	208	164
平成27年		332	106	47	179	887	488	230	168

資料:農林業センサス

●商業の推移

単位:店・人・万円

年次	区分	商店数	従業者数	年間商品販売額	商品手持額
昭和51年		67	126	90,514	11,473
昭和60年		60	130	167,150	18,111
平成12年		53	283	610,208	10,540
平成16年		46	218	421,194	—
平成19年		44	263	401,158	—
平成24年		40	242	331,445	—
平成28年		35	194	344,900	—

資料:商業統計調査  
経済センサス活動調査

●工業の推移

単位:所・人・万円

年次	区分	事業所数	従業者数	製造品出荷額
昭和45年		19	135	23,487
昭和60年		15	448	261,472
平成12年		24	324	375,364
平成17年		17	231	277,627
平成21年		12	128	153,041
平成25年		12	128	161,347
平成26年		13	155	179,068
平成28年		17	234	765,664

資料:工業統計調査  
経済センサス活動調査



●社会福祉施設の状況

区分	施設数
特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)	1
老人保健施設(介護老人保健施設)	1
老人デイサービスセンター(通所介護)	0
通所リハビリテーション(デイケア)	1
老人短期入所施設(生活介護・療護介護)	1
グループホーム(認知症対応型共同生活介護)	1
グループホーム(共同生活援助)	1
就労継続支援A型事業所	3
就労継続支援B型事業所	2
就労移行支援	1
地域密着型介護老人福祉施設	1
児童発達支援	1

●介護保険・要介護認定状況

単位:人・%

区分 年次	第1号 被保険者	介護認定者 (1号のみ)	介護認定率
平成12年	1,519	227	14.9
平成17年	1,647	292	17.7
平成22年	1,627	291	17.8
平成27年	1,699	307	19.0
令和元年	1,784	339	20.0

●後期高齢者医療制度

単位:人・%

区分 年次	被保険者	金額(千円)
平成20年	932	24,914
平成21年	938	23,547
平成22年	960	26,212
平成23年	982	27,136
平成24年	979	28,164
平成25年	962	27,888
平成26年	973	28,726
平成27年	970	28,583
平成28年	975	29,932
平成29年	968	34,049
平成30年	970	37,463
令和元年	973	41,223

福祉

●国民健康保険

単位:人・千円・円

区分 年次	総被保険者数	保険税		制度別医療費の動向											
		保険税		全 体		一 般		退 職		老 人					
		総額 (千円)	一人当額 (円)	総額 (千円)	一人当額 (円)	被保険者数	総額 (千円)	一人当額 (円)	被保険者数	総額 (千円)	一人当額 (円)	被保険者数	総額 (千円)	一人当額 (円)	
平成3年	2,858	127,243	44,522	657,548	230,073	2,182	355,559	162,951	164	39,797	242,665	512	292,192	512,094	
平成9年	2,450	163,366	66,680	845,974	345,296	1,668	339,341	203,441	165	44,514	269,782	617	462,119	748,978	
平成13年	2,480	161,704	65,203	816,692	329,311	1,524	332,697	218,305	229	81,011	353,759	727	402,984	554,310	
平成17年	2,621	108,636	68,919	945,477	360,731	1,602	372,179	232,321	269	125,735	467,417	750	447,563	596,751	
平成22年	1,693	148,438	85,703	491,385	290,245	1,580	433,959	274,658	152	57,426	377,803	—	—	—	
平成27年	1,296	110,993	85,643	383,153	295,643	1,227	349,256	284,642	69	33,897	491,259	—	—	—	
令和元年	1,093	109,369	100,063	—	385,317	1,093	367,420	336,157	0	425	0	—	—	—	

●保育所

(令和2年4月1日現在) 単位:人

区分	入所定員
四浦保育所あざみ園	20
なつめ保育園	70
暁保育園	40

資料:保健福祉課

●国民年金の受給状況(新法)

区分 年次	老齢基礎年金		障害基礎年金(第2号)		遺族基礎年金(第2号)		障害基礎年金		遺族基礎年金	
	受給者数	金額 (千円)	受給者数	金額 (千円)	受給者数	金額 (千円)	受給者数	金額 (千円)	受給者数	金額 (千円)
昭和61年	24	8,593	0	0	3	1,806	83	61,278	0	0
平成元年	196	74,975	0	0	18	11,192	80	64,921	3	64,921
平成6年	485	242,064	1	975	10	7,735	19	16,380	4	16,380
平成18年	1,168	731,969	16	14,377	—	—	102	93,190	4	4,080
平成22年	1,334	856,166	22	19,328	6	3,364	109	99,008	0	0
平成27年	1,561	1,023,090	—	—	—	—	123	108,357	5	3,477
令和元年	1,678	1,116,839	—	—	—	—	124	108,939	5	4,071

資料:保健福祉課

●国民年金の受給状況(旧法)

区分 年次	老齢基礎年金		通算老齢年金		障害年金		母子年金		遺児年金		寡婦年金		死亡一時金	
	受給者数	金額 (千円)	受給者数	金額 (千円)	受給者数	金額 (千円)	受給者数	金額 (千円)	受給者数	金額 (千円)	受給者数	金額 (千円)	受給者数	金額 (千円)
昭和61年	853	296,068	71	11,948	45	30,673	11	8,657	0	0	10	3,271	3	263
平成元年	796	264,330	79	14,244	37	27,806	5	4,162	0	0	14	5,299	1	135
平成6年	688	269,805	84	18,329	26	23,400	1	780	0	0	11	5,024	2	260
平成18年	309	126,255	46	9,762	10	9,703	—	—	—	—	—	—	—	—
平成22年	209	84,779	30	6,552	9	8,713	—	—	—	—	—	—	—	—
平成27年	118	47,764	20	4,153	7	6,568	—	—	—	—	—	—	—	—
令和元年	46	18,719	12	2,883	3	2,730	—	—	—	—	—	—	—	—

衛生

●ごみ処理状況

単位:トン

年度	総計	内 訳				
		可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	資源ごみ	有害ごみ
平成18年	984	735	89	3	157	0
平成19年	987	742	85	3	157	0
平成20年	955	734	73	4	144	0
平成21年	915	713	71	3	128	0
平成22年	937	728	70	5	133	1
平成23年	933	734	73	5	120	1
平成24年	936	736	66	7	126	1
平成25年	935	751	76	5	102	1
平成26年	946	781	66	5	93	1
平成27年	1,009	839	66	8	95	1
平成28年	1,009	852	62	8	86	1
平成29年	1,001	856	54	9	81	1
平成30年	1,012	856	53	10	93	0
令和元年	1,023	866	54	12	90	1

資料:保健福祉課



# 財政

## ●一般会計の決算状況（歳入）

単位：千円

項目	年度	昭和35年	昭和55年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和元年
村税		14,504	130,520	314,040	296,988	310,889	335,912	378,906
地方譲与税			21,858	47,984	68,836	43,334	32,980	38,128
利子割交付金				13,097	1,620	1,013	376	171
配当割交付金					478	272	1,362	715
株式譲渡所得割交付金					656	115	1,158	481
地方消費税交付金				50,423	49,457	48,478	88,553	74,927
ゴルフ場利用交付税			14,448	11,804	11,133	8,851	6,087	5,255
自動車取得税交付金			13,146	21,012	16,368	7,447	4,456	4,072
環境性能割交付金								1,016
地方特例交付金				8,310	8,030	9,196	827	4,414
地方交付税		18,557	635,716	1,888,360	1,548,754	1,886,349	1,850,807	1,663,222
交通安全対策特別交付金			415	784	806	785	0	0
分担金及び負担金		453	52,681	38,235	42,453	34,133	33,616	16,807
使用料及び手数料		608	6,729	16,476	20,850	22,732	33,875	39,858
国庫支出金		2,499	183,964	264,367	317,418	1,021,236	359,839	337,915
県支出金		2,115	242,558	408,321	179,993	245,718	259,023	1,041,482
財産収入		20,102	4,012	22,756	13,799	15,610	67,068	55,260
寄付金		61	1,300	0	0	1,710	1,490	49,843
繰入金				6,804	74,000	2,925	2,732	107,723
繰越金		407	57,989	184,024	249,568	251,804	145,336	178,745
諸収入		2,411	47,904	68,356	28,803	37,292	22,116	33,221
村債		1,100	167,700	440,800	362,500	324,075	208,800	226,487
合計		62,817	1,580,940	3,805,953	3,292,510	4,273,964	3,456,413	4,258,648

## （歳出）

単位：千円

項目	年度	昭和35年	昭和55年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和元年
議会費		2,890	39,967	77,969	54,018	56,739	63,300	58,404
総務費		20,869	303,363	554,302	427,852	1,430,282	753,535	665,897
民生費		2,105	179,121	462,141	647,201	791,818	819,690	841,320
衛生費		798	35,943	295,541	289,726	267,899	238,472	205,473
農林水産業費		8,558	355,034	799,025	357,951	463,861	480,513	1,205,812
商工費			555	14,831	15,879	8,820	26,079	29,438
土木費		3,043	160,511	357,213	361,231	180,645	169,956	365,764
消防費		1,087	55,910	148,103	129,113	144,151	141,861	149,614
教育費		10,337	250,412	407,573	219,864	240,876	305,232	252,870
災害復旧費			7,054	43,056	54,832	5,864	19	57,831
公債費		2,937	125,370	441,632	473,144	435,217	309,300	266,760
諸支出費		5,245	449	6,804	0	0		
予備費		0	0	0	0	0		
労働費		0	0	0	0	14,371		
歳出合計		57,869	1,513,689	3,608,190	3,030,811	4,040,543	3,307,957	4,099,183

## ●村税の内訳

単位：千円

項目	年度	昭和35年	昭和55年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和元年
村民税		2,787	49,126	115,777	102,964	108,591	121,452	136,511
固定資産税		9,337	50,023	163,158	159,008	161,354	171,036	200,312
軽自動車税		143	4,470	11,123	12,737	14,256	14,765	19,844
市町村たばこ消費税			15,619			-		
市町村たばこ税		1,339		22,882	21,116	25,798	27,859	21,275
電気税		535	9,259			-		
木材取引税		155	2,023			-		
特別土地保有税				81		-		
入湯税				1,019	1,163	890	800	964
旧法による税		208				-		
村税合計		14,504	130,520	314,040	296,988	310,889	335,912	378,906

# 行政

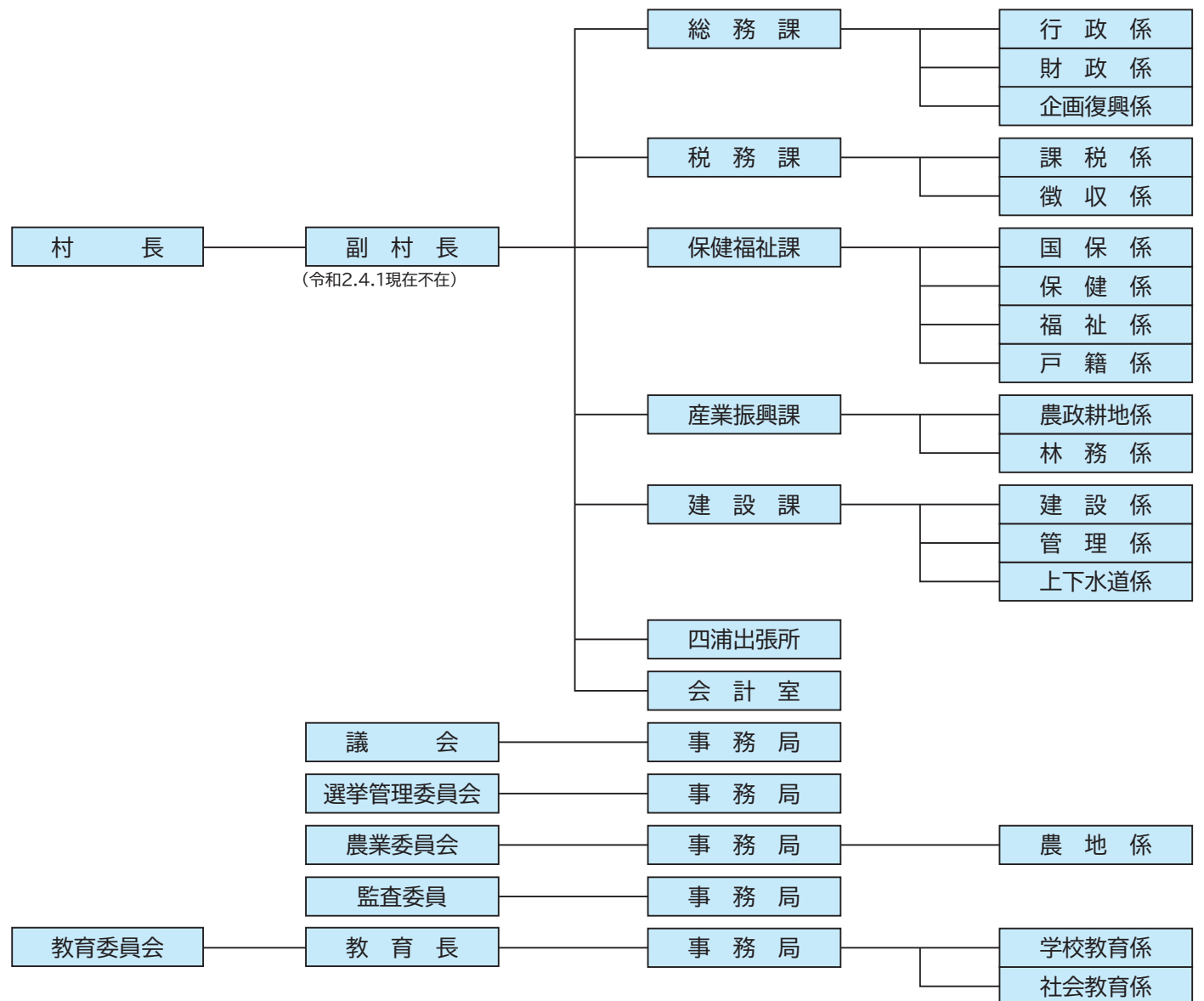
## ●歴代村長

期間	氏名
昭和 31. 9.29 ~ 昭和 46. 3.27	橋口勝利
昭和 46. 4.25 ~ 昭和 56.10.17	緒方民夫
昭和 56.11.22 ~ 平成 13.11.21	高岡隆盛
平成 13.11.22 ~ 平成 20. 2. 6	矢上雅義
平成 20. 3.24 ~ 令和 2. 3.23	徳田正臣
令和 2. 3.24 ~	吉松啓一

## ●歴代副村長(H19.3.31 までは助役)

期間	氏名
昭和 31.11. 1 ~ 昭和 43.10.31	石原繁実
昭和 43.11. 1 ~ 昭和 51.11.15	丸山武夫
昭和 51.11.16 ~ 昭和 63.11.15	福山 仁
平成 元.12.15 ~ 平成 13.12.10	中村司朗
平成 14. 2.13 ~ 平成 17. 3. 1	原先利文
平成 17.12.27 ~ 平成 20. 3.31	高田義弘

## ●行政機構図（令和2年9月現在）



行政

財政



年表

年 月	内 容
安永3年 (1774)	柳瀬村181戸 1,103人 深水村 52戸 467人
明治8年 (1875)	川辺村194戸 1,504人 四浦村241戸 1,358人 計668戸 4,432人
昭和31年	柳瀬村223戸 1,063人 深水村101戸 499人
9月	川辺村277戸 1,327人 四浦村307戸 1,471人 計908戸 4,360人
9月	相良村初代村長 橋口勝利氏就任
10月	10月1日現在人口 川村 男2,897人 女2,974人 計5,871人 四浦村 男1,465人 女1,473人 計2,938人 合計 男4,362人 女4,447人 計8,809人
昭和32年	4月 合併後初の村議会議員選挙 議員18名決定(投票率93.59%)
昭和33年	6月 四浦(椎葉、野原、中ノ原、嶽野など無灯火地区)に有線放送施設完成
昭和34年	3月 相良村公民館報「さがら」第1号発行
3月	田代地区簡易水道完成(給水人口約800名 工費218万円)
3月	ラジオ熊本テレビ(RKK)サービス放送開始
昭和35年	3月 相良橋(旧棚葉瀬橋)完成(延長86m 工費300万円)
6月	田代橋完成(延長66m 幅3.6m 工費240万円)
6月	川辺畔で古墳十数基発見
昭和36年	4月 野原分校が相良村野原小学校となる(6学級 児童数140名)
5月	相良村最初の老人クラブ、永江老人クラブ、誕生
10月	村道 平原～十島線完成(総延長2,844.55m 幅4.5m 総工費480万6千円)
昭和37年	5月 柳瀬新村の原園吊橋完成(延長120m 幅1.8m 工費394万円)
8月	四浦深水吊橋完成(延長60m 幅1.8m 工費177万円)
12月	県の農業構造改善事業地域指定を受ける
昭和38年	8月 川辺川大洪水(家屋流失8戸 橋流出6 一部流出4 被害総額5億7千万円)
昭和38年	10月 本屋敷(11戸)、尾方原(15戸)に電気点灯(工費106万6千円)
昭和39年	4月 高原台地に灌漑用水及び飲料水道完成
8月	台風14号被害(家屋半壊8戸外 被害総額3,800万円)
8月	臨時村議会で「道徳の村」宣言を採択
昭和40年	6月 四浦六藤橋完成(延長84.4m 幅4m 工費2,298万円)
7月	深水境田橋完成(延長99m 幅3m 工費1,814万4千円)
7月	集中豪雨による大災害(7月3日)
8月	台風15号被害(家屋全壊9戸 半壊以上195戸外 被害総額1億5千万円)
12月	夜狩尾地区に電気点灯(工費276万円)
昭和41年	3月 相良農協、相良第一農協が合併し相良村農協発足
11月	県営川村飛行場開拓地改良事業完工式(工費1億477万円)
12月	相良村商工会設立
昭和42年	6月 九州地方建設局川辺川工事事務所発足
9月	吉野尾橋(吊橋)完成(延長95m 幅2.2m 工費524万円)
昭和43年	5月 相良村児童館(工費665万5千円)と老人憩いの家(工費438万8千円)落成
9月	相良北小、中学校合同給食開始
昭和44年	7月 棚葉瀬団地圃場整備事業 揚水工事完成(事業費5,566万円)
8月	高原土地改良区開田竣工(総事業費5,500万円)
昭和45年	2月 四浦製茶協同組合の製茶工場完成(建設費342万円 製茶機962万円)
9月	尾方原林道、新增谷林道起工式
昭和46年	3月 相良南小学校体育館落成(工費1,545万8千円)
8月	台風19号来襲(被害総額1億7千万円)
9月	相良村の村章決定
10月	地域集団電話開始(加入者811名)
昭和47年	4月 人吉下球磨消防組合設立

議会

●歴代議長

期 間	氏 名
昭和 31. 9. 8 ~ 昭和 32. 4. 30	有瀬 武雄
昭和 32. 5. 1 ~ 昭和 36. 4. 30	阿川 上
昭和 36. 5. 1 ~ 昭和 40. 4. 30	江口 福治
昭和 40. 5. 1 ~ 昭和 44. 4. 30	永島 道人
昭和 44. 5. 1 ~ 昭和 46. 4. 30	高岡 隆盛
昭和 46. 5. 1 ~ 昭和 48. 4. 30	矢上 昭次郎
昭和 48. 5. 1 ~ 昭和 52. 4. 30	山下 廣
昭和 52. 5. 1 ~ 昭和 56. 4. 30	溝口 義孝
昭和 56. 5. 1 ~ 昭和 60. 4. 30	中村 喜一郎
昭和 60. 5. 1 ~ 平成 元. 4. 30	上原 勇作
平成 元. 5. 1 ~ 平成 4. 8. 25	堀川 金泰
平成 4. 8. 29 ~ 平成 9. 4. 30	恒松 新
平成 9. 5. 1 ~ 平成 13. 4. 30	豊福 寅熊
平成 13. 5. 1 ~ 平成 16. 4. 4	堀川 金泰
平成 16. 4. 12 ~ 平成 16. 6. 2	桑原 親男
平成 16. 6. 15 ~ 平成 17. 3. 3	大土手 良助
平成 17. 5. 1 ~ 平成 21. 4. 30	横山 良継
平成 21. 5. 1 ~ 平成 25. 4. 30	小善 満子
平成 25. 5. 1 ~ 平成 29. 4. 30	友田 政春
平成 29. 5. 1 ~ 令和 2. 2. 17	吉松 啓一
令和 2. 3. 10 ~	黒木 正照

●歴代副議長

期 間	氏 名
昭和 31. 9. 8 ~ 昭和 36. 4. 30	竹野 巖
昭和 36. 5. 1 ~ 昭和 40. 4. 30	池田 武
昭和 40. 5. 1 ~ 昭和 44. 4. 30	稲富 克己
昭和 44. 5. 1 ~ 昭和 48. 4. 30	大塚 智
昭和 48. 5. 1 ~ 昭和 52. 4. 30	溝口 義孝
昭和 52. 5. 1 ~ 昭和 56. 4. 30	中村 喜一郎
昭和 56. 5. 1 ~ 昭和 60. 4. 30	坂本 智
昭和 60. 5. 1 ~ 昭和 63. 2. 29	堀川 金泰
昭和 63. 3. 1 ~ 平成 元. 4. 30	西 利光
平成 元. 5. 1 ~ 平成 4. 8. 25	恒松 新
平成 4. 8. 29 ~ 平成 8. 6. 25	福田 輝雄
平成 8. 7. 1 ~ 平成 9. 4. 30	新堀 澄春
平成 9. 5. 1 ~ 平成 13. 4. 30	綱木 國暉
平成 13. 5. 1 ~ 平成 16. 4. 4	桑原 親男
平成 16. 4. 12 ~ 平成 16. 6. 2	大土手 良助
平成 16. 6. 15 ~ 平成 17. 3. 3	山村 富一
平成 17. 5. 1 ~ 平成 17. 11. 2	小村 仁
平成 17. 11. 12 ~ 平成 21. 4. 30	小善 満子
平成 21. 5. 1 ~ 平成 23. 3. 1	横山 良継
平成 23. 3. 10 ~ 平成 25. 4. 30	茂吉隆典
平成 25. 5. 1 ~ 平成 28. 2. 23	吉松 啓一
平成 28. 3. 29 ~ 平成 29. 4. 30	池田 勝吉
平成 29. 5. 1 ~	高岡 重盛

さがら伝説①  
廻りサカマの河童伝説

三十三観音十八番札所「廻り観音」の裏手に川辺川の分流で藤の瀬という流れがありました。そこに「サカマ」といつて深い淵があり、昔からこの淵には「カッパ」が棲んでいるといわれていました。昔むかし、ある夏の暑い日のことでした。廻りの村山家に大きな馬が飼われていました。主人は、その馬に水浴びをさせるため、サカマに連れて行き、馬を近くの柳の木につないで、自宅に帰りました。そして間もなくサカマの淵からカッパが出てきて馬の尻尾に食い下がり、淵の中に引きずり込もうとしたのです。

それを驚いた馬は、手綱を引きちぎって一目散に馬小屋まで駆け戻りました。ところがカッパも馬の尻尾に喰い下がったままだったから大変なことになりました。サカマから引きずられながら、あつという間に村山家の馬小屋まで来てしまいました。それをちょうど主人に見つかって「こらっ、お前がいつも馬を淵に引きずり込む、悪さをしてきたカッパ

だったのか」と捕らえられ、馬小屋の柱に縛り付けられてしまいました。カッパも初めのうちは、舌を出したり、アツカンペーをしたりと生意気なことばかりしていましたが、いつの間にか頭の皿の水が減って、とうとう空っぽになってしまいました。それまで生意気だったカッパも、ナメクジに塩をかけたときのようにしゃべることもできなくなっていました。しばらくして村山家のお手伝いさんがそれを見つけて「これは大変、可哀想なこと」とカッパの頭の皿に水をかけて、そっと逃がしてやりました。「お姉さん、ありがとう」と言っ、いつもは悪さばかりするカッパも目に涙をたくさんためながらサカマの淵に帰っていきました。ところがその翌晩から村山家の台所には鮎やイダなどの魚が毎晩たくさん届けられるようになりました。初めのうちは何のことかさっぱりわかりませんでした。ところが、これはサカマのカッパが持つて来てくれたのだらう」ということで、村山家からもたまには、カッパが喜ぶキ



\*この話は、川辺の廻り地区におられた矢上秀守氏が子どもの頃、地元のお年寄りから聞いた話を再構成したものです。(立て看板と相良村誌より)



年 月	内 容
平成6年 3月	野原小学校廃校
3月	弓道場落成
4月	相良村誌第1巻「或村の近世史」発刊
7月	十島菅原神社が国の重要文化財に指定
10月	大規模林道開通式(相良村～五木村28.3km)
11月	大神橋完成
平成7年 3月	深水簡易水道竣工
7月	相良村四浦支所が相良村四浦出張所に変更
8月	住民基本台帳が電算化される
平成8年 1月	鮎の中間育成施設完成
8月	中四浦地区農業集落排水処理施設供用開始
平成9年 4月	「ふれあいリフレ茶湯里」オープン
平成10年 1月	川辺地区簡易水道施設完成
7月	相良南中学校吹奏楽部が県吹奏楽コンクール初出場で最優秀賞受賞
平成11年 10月	第54回国民体育大会「くまもと未来国体」開催 (成年女子9人制バレーボール競技会場)
平成12年 3月	相良橋完成
11月	十島菅原神社修復工事完了 412年前の姿へ修復される
平成13年 7月	相良村ホームページ開設
8月	全国高等学校総合体育大会「新世紀総体」開催(女子バレーボール競技)
12月	球磨郡市で初めて戸籍が電算化される
平成14年 3月	相良北小学校3年生制作「お茶からながめるふるさと四浦」が第8回マイタウンマップコンクールで農林 水産大臣賞受賞
4月	下四浦地区農業集落排水処理施設供用開始
6月	相良南中学校プール完成
11月	人吉下球磨合併任意協議会設立(人吉市と相良村)
平成15年 3月	柳瀬地区簡易水道施設完成
4月	人吉・相良合併法定協議会設立
4月	相良北中学校と南中学校が統合し、相良中学校となる
7月	相良北小学校新校舎落成
7月	人吉・相良合併法定協議会解散
平成16年 6月	台風16号来襲
平成16年 9月	台風18号来襲
平成17年 4月	村議会 議員定数14名から12名へ(2名定数削減)
6月	相良北小学校プール完成
9月	台風14号来襲
平成18年 4月	川辺川永江の中洲で戦時中の不発弾が発見され無事に処理完了
7月	梅雨前線豪雨「平成18年7月豪雨」
9月	相良村制50周年(9月1日)
平成19年 4月	四浦保育所(あざみ園) 民営化スタート
8月	四浦出張所を四浦郵便局内へ移転
11月	女性消防隊が誕生
平成20年 4月	川地区農業集落排水施設供用開始
6月	相良村男女共同参画社会推進懇話会設置
7月	森林基幹道相良五木線開通
平成21年 2月	「安全・安心な相良村の実現に向けた相良村・人吉警察署連絡会議」設置
4月	村議会 議員定数12名から11名へ(1名削減)
平成22年 5月	さがら村グリーンツーリズム研究会発足
5月	さがら温泉「茶湯里」有料入館者数350万人達成
平成23年 3月	相良村地域情報通信基盤整備事業 落成
4月	相良村地域づくり補助金事業 開始

年 月	内 容
4月	川辺川総合土地改良組合設立
12月	相良村文化財保護委員会(委員長高田来氏)発足
昭和48年 3月	村道永江～野原線の黒石橋完成(延長15m 幅5m 工費375万円)
3月	相良北小学校体育館落成
昭和49年 10月	相良北小学校で第20回九州へき地教育研究大会班別研究会開催
11月	相良南小学校創立百周年記念式典
昭和50年 11月	相良村農協総合センター完成
11月	相良北小学校創立百周年記念式典
昭和51年 4月	権現橋完成(延長190m 幅5m 工費1億5千万円)
9月	相良村合併20周年記念式典
昭和52年 2月	川辺大橋(旧永江橋)完成
4月	深山橋完成
9月	相良村にゴルフ場オープン
昭和53年 1月	川局と四浦局の電話ダイヤル化
4月	四浦保育所「あざみ園」開所
10月	相良村役場新庁舎落成
昭和54年 11月	県町村大会で相良村自治優良村表彰を受ける
昭和55年 3月	柳瀬橋完成
5月	木綿葉大橋完成
昭和56年 3月	相良北中学校 校舎・屋内・屋外運動場落成
11月	「さがら音頭」レコード盤作成
昭和57年 7月	集中豪雨災害
昭和58年 2月	「県営農地保全事業」完工式及び記念碑除幕式
6月	相良村土地改良区発足
8月	相良北中学校男子バレーボール部全国大会出場
昭和59年 3月	相良南中学校体育館落成
12月	村議会で「非核と平和と緑の村宣言」決議
昭和60年 2月	村議会 議員定数16名から14名へ(2名定数削減)
3月	特別養護老人ホーム「川辺川園」開園
3月	広域基幹林道「夜狩尾線」(県営)完成
3月	相良南中学校校舎落成
昭和61年 11月	住みよい村づくりを目指し5項目の「村民憲章」発表
昭和62年 3月	相良南小学校校舎落成
5月	「霧の都・茶の里・茶つみ観光」実施
昭和63年 7月	第1回サガラッパ祭開催
平成元年 3月	相良南小学校改築工事完成
3月	川辺分校、柳瀬分校が廃校となり本校に統合
10月	人吉球磨広域行政組合設立
平成2年 1月	相良村奨学金貸与条例制定
3月	川辺地区構造改善センター落成
4月	老人福祉施設「デイ・サービスセンター」完成
4月	相良村文化協会設立
12月	夫婦橋完成
平成3年 2月	相良村総合体育館落成
3月	柳瀬地区構造改善センター落成
9月	台風19号被害
平成4年 4月	山本神社(深水)県内最古の神社建築と判明
9月	学校週5日制開始
10月	相良村在宅福祉事業推進の功績で厚生大臣表彰を受ける
平成5年 4月	役場が毎週土曜・日曜日閉庁となる
10月	全国茶品評会で相良村が産地賞受賞



年 月	内 容
12月	村職員による鳥獣被害対策実施隊発足
平成24年 4月	球磨郡各町村が合同で取り組む結婚支援協定締結
5月	相良村総合運動公園の東屋完成
7月	7.12豪雨被害
9月	学校給食食材費3割補助
10月	中学校3年生まで医療費無償化
10月	㈱フードワークスが農業参入 協定締結
平成24年 10月	さがら温泉「茶湯里」有料入館者数400万人達成
平成25年 4月	相良村公式Facebookページ開設
4月	相良村キャラクター「サガラッパ」誕生
4月	村議会 議員定数11名から10名へ(1名定数削減)
4月	「相良村応援元気づくりプロジェクト」始動
6月	「活力あるむらづくりシンポジウム in 相良村」開催 400人参加
6月	相良村集落支援員 設置
7月	人・農地プラン 策定
8月	熊本県立大学総合管理学部自主研究プロジェクト「KUMAJEKT」開始
9月	熊本県立大学と連携のもと「上四浦地区の地域振興」に関する調査実施
10月	熊本県立大学と包括協定締結
10月	「LOVE♥SAGARA PROJECT」始動(「相性が良くなる村」を全国へ向けて発信)
11月	九州茶業功労者として徳田村長が村内の茶農家を代表して表彰を受ける
平成26年 1月	暁保育園に地域の縁がわ「あかつきの里」が新設
3月	旧相良北小学校体育館内に㈱肥後相良ファーム球磨工場の建設、竣工
4月	多良木町養鶏場で鳥インフルエンザ発生、同じ経営者が経営する相良村の養鶏場でも5万6千羽の殺処分が行われる
7月	大規模災害時の支援活動に関する協定を相良建友会と締結
8月	第50回献血運動推進全国大会において、相良村献血推進協議会が厚生労働大臣に表彰される
10月	第3回全国村長サミットが相良村で開催される 400人参加
11月	第52回熊本県中学校剣道大会において相良中学校剣道部が男子の部で初優勝
1月	「人吉球磨定住自立圏」形成協定を締結
4月	人吉球磨文化が日本遺産になる。村内では十島菅原神社・雨宮神社・井沢熊野座神社が相良700年のストーリーの構成文化財に
7月	四浦阿蘇神社の本殿覆屋の改築・竣工
平成27年 10月	村道廻谷線「観音橋」が開通
平成28年 8月	ラジオ体操全国生放送
9月	フランス共和国 セントヴァレンティン村 ルッソー村長来村
10月	相良村誕生60年記念式典
平成29年 10月	人命を救った児童生徒2名に県から全校児童表彰
11月	フランス共和国 セントヴァレンティン村との姉妹都市締結
2月	緒方俊一郎医師が都道府県医療功労賞受賞
4月	渡辺製茶の渡辺夫妻が東久邇宮記念賞受賞
平成31年 2月	第6次相良村総合計画策定
(令和元年) 2月	千葉県市川市と災害時相互応援に関する協定締結
3月	医療法人仙寿会緒方俊一郎院長第7回「赤ひげ大賞」受賞
4月	学校給食共同調理場落成式
令和2年 1月	相良中出身、筑波大学3年生の大手手高選手が第96回東京箱根間往復大学駅伝競走大会に出場
7月	国土交通省「水質が最も良好な河川」として選出。14年連続日本一。
7月	令和2年7月豪雨により甚大な水害(住家全壊18棟 住家を除く被害総額64億円)

## さがら伝説② 神のなみだ

音もなく静かな、五ツの神鞍からなる北嶽山に霊霧がはいのぼっていきます。三集谷の涼のせせらぎで顔を洗うと腰に手ぬぐいをはさんで、きこりの三吉は歩き出しました。

「山神さま、しばらくやすませて下さい。」  
そうして、一時休むと三吉はまた仕事をしに山の中へ入ってゆくのでした。その三吉の姿をいつもじっと見つめる姿がありました。

ある日、三吉がいつものように山を登ってきくと、一の涼の岩の上に美しい少女に逢いました。それはとても清らかで、まるで水の精かと思われるほどの美しさです。少女は軽やかにとんで三吉のそばに立ちました。三吉と少女はすぐに仲良くなり、山を登っていききました。その少女がそばにいただけで、三吉はとても楽しく、夢のような心持

ちがするようです。仕事もいつもよりずっとはかどりました。

次の日から、三吉と少女は一日をいっしょにすごすようになり、仕事をすませて別れて家に帰る夕刻がくるのが、つくづく悲しくなるほど二人は好き合ひ、一日がとて短く思えるようになってゆきました。

三吉は、村の出来事や自分の妹、弟の話、楽しい事、悲しい事、何でも少女に話しました。けれども少女の事をたずねると、いつも笑ってキラキラ輝く瞳をうるませたまま何も答えてはくれませんでした。でも少女が持つてくる、山の果物の舌のころけるようなおいしさに、三吉は幸せいっぱいになるのです。

秋が過ぎ、冬が訪れ、春が廻りやがて夏も終わりの頃、村の祭りの季節がやってきました。村一番の踊り手の三吉は、少女に村祭りの踊りを教えて、少女はすぐに覚えて、足音もなく軽やかに、しなやかな黒い髪をなびかせて踊ります。かぐわしい匂をただよわせる風が、村の考えから祭の音を運んでいきます。杉の木の間を白い着物と赤い着物とが見えかくれしながら踊るさまは、まるで蝶のよう

でした。

短い秋が過ぎ、寒い冬も北の空に帰り、山に春がやってきました。三吉と少女は前にもまして、さえずる小鳥よりも楽しく過ごしていました。

そんなある日、都から三吉の所へ使いが来ました。三吉の踊りの噂が里から町、そして都へと広がっていったのでしようか、ぜひ都へ上がって踊ってほしいとの事です。三吉は偉い都の人の前で踊るという事で、天にものぼる気持ちです。急いで山に行き、その事を少女に話しました。少女はニコニコして聞いていましたが聞き終わると少女の瞳から涙がこぼれました。

「泣かないでくれ。ほんの少しの間だから。来年の春までには必ず帰ってくるよ。」  
三吉は少女に、そう固く約束して都へと旅立って行きました。

冬がすぎ、約束の春がきて、三吉は帰ってきません。少女はいつもの所まで、待ちました。毎日毎日、いつ帰るか待ち続けました。少女の足もとの草は涙にぬれてじゅっしよとなりました。そして霧深い朝、帰ってこない三吉を想い続けた少女の美しい目が静かに静かに閉じられました。

霧が晴れる頃、北嶽山の神鞍を守り、神様にお仕えしていた銀髪の年老いた狛が、小猿を抱きしめて、くれ岩の松の木を背に、いつまでも泣いている姿を村人は見ました。

少女は老狛の娘だったので、春先になると、薄暗い杉の木立の根元にひっそりと、小さな白い花がホロホロと咲きます。人々はそれを見て、少女の涙だと言いました。そして、少女を哀れんだ村人たちは、かなしい魂をなぐさめようと、一年の終りの月の申の日に祭りを行うことになりました。

今でも11月の最初の申の日に祭が行われます。そして遠い昔の物語をしのぶのです。少女の涙の白い花は、ふたり静とよばれているそうです。



## 交通のご案内

■ お車でお越しの場合

福岡I.C.	80分	九州自動車道	熊本	70分	九州自動車道	人吉	7分	国道445号線	相良村
大分I.C.	100分	大分自動車道	熊本	70分	九州自動車道	人吉	7分	国道445号線	相良村
長崎多良木I.C.	120分	長崎自動車道	熊本	70分	九州自動車道	人吉	7分	国道445号線	相良村
宮崎I.C.	80分	宮崎自動車道・九州自動車道	熊本	70分	九州自動車道	人吉	7分	国道445号線	相良村
鹿児島I.C.	75分	九州自動車道	熊本	70分	九州自動車道	人吉	7分	国道445号線	相良村

■ JRでお越しの場合

福岡	80分	鹿児島本線	熊本	90分	肥後線	相良村
宮崎	160分	肥後線	熊本	90分	肥後線	相良村
鹿児島	160分	肥後線	熊本	90分	肥後線	相良村

※九州新幹線利用の場合 福岡-熊本間 最速33分

■ 高速バスでお越しの場合

交通センター	100分	九州自動車道	人吉	7分	相良村
宮崎	90分	九州自動車道	人吉	7分	相良村
鹿児島	80分	九州自動車道	人吉	7分	相良村





## 相良村 村勢要覧

---

令和2年11月発行

発行/熊本県相良村

〒868-8501 熊本県球磨郡相良村大字深水2500-1

TEL:0966-35-0211 FAX:0966-35-0011

<https://www.vill.sagara.lg.jp/>

<http://www.facebook.com/vill.sagara>

印刷/(有)三協印刷



相良村キャラクター  
『サガラッパくん』